



両津小だより

両津小学校

R6.12.4
NO. 8

新潟県佐渡市両津湊 200-1 電話 0259-27-3642

ホームページ <http://ryoutsu-es.sado.ed.jp/> Eメール ryoutsu-es@sado.ed.jp

笑顔あふれるウインターフェスティバル

校長 後藤 修治

学校から見える大佐渡の山々も雪化粧し、冬の到来を感じさせてくれます。12月に入り、寒さも一段と増してきましたが、子どもたちは、元気に学校生活を送っています。

先月に実施した学習参観、避難訓練（保護者引き渡し訓練）には、多くの保護者の皆様からお越しいただきましてありがとうございます。子どもたちの学習の様子はいかがでしたでしょうか？学校運営協議会の委員の方にもご案内をし、子どもたちの学習の様子について参観していただきました。「一学期よりクラスの雰囲気がよく活気があった。」「全員が集中して学習に取り組んでいた。」等、お褒めの言葉を多くいただきました。

さて、先週、児童会行事「ウインターフェスティバル」が行われました。2年生以上の学年が工夫を凝らした出店を用意してくれました。そして、全校児童が出店を回り、ゲームやクイズなどを楽しみました。各学年が用意した出店は、どれもよく考えられていました。そして、時間をかけて準備してきたことがよく分かりました。

学校の教育活動は、各教科の学習、各種行事等盛りだくさんの内容です。子どもたちや教員が過度な負担とならないよう活動や行事の精選、見直しが文科省から求められている現状があります。しかし、ウインターフェスティバルは、準備等に時間を必要としても実施したい活動であると思います。それは、何よりも子どもたちが楽しみにしているからです。当日は、お店の係役の子も、ゲームに参加している子も笑顔でいきいきと活動していました。また、活動そのものに学びがあります。出店を準備する過程において、友達との協力は欠かせません。一人一人に役割があり、学級における所属感や自己肯定感が高まります。また、他学年のゲームに参加することで異学年交流が生まれます。下学年は上学年のアイデアや工夫にすごさを感じ、次年度に向けてアイデアや楽しみが膨らみます。上学年は下学年も楽しめるゲームやルールを考えることで、相手の立場を考える思いやりの心が育ちます。また、ゲームを楽しむ下学年の姿をみて満足感や充実感をもつことができます。閉会式で6年生の代表児童が、「みんなに楽しんでもらえてよかった。」と感想発表をしていました。



これからも、子どもたちが楽しみでワクワクするような活動、学びのある活動を大事にしていきたいと思っています。